



忍

墮

ち

て

クノイチ

×

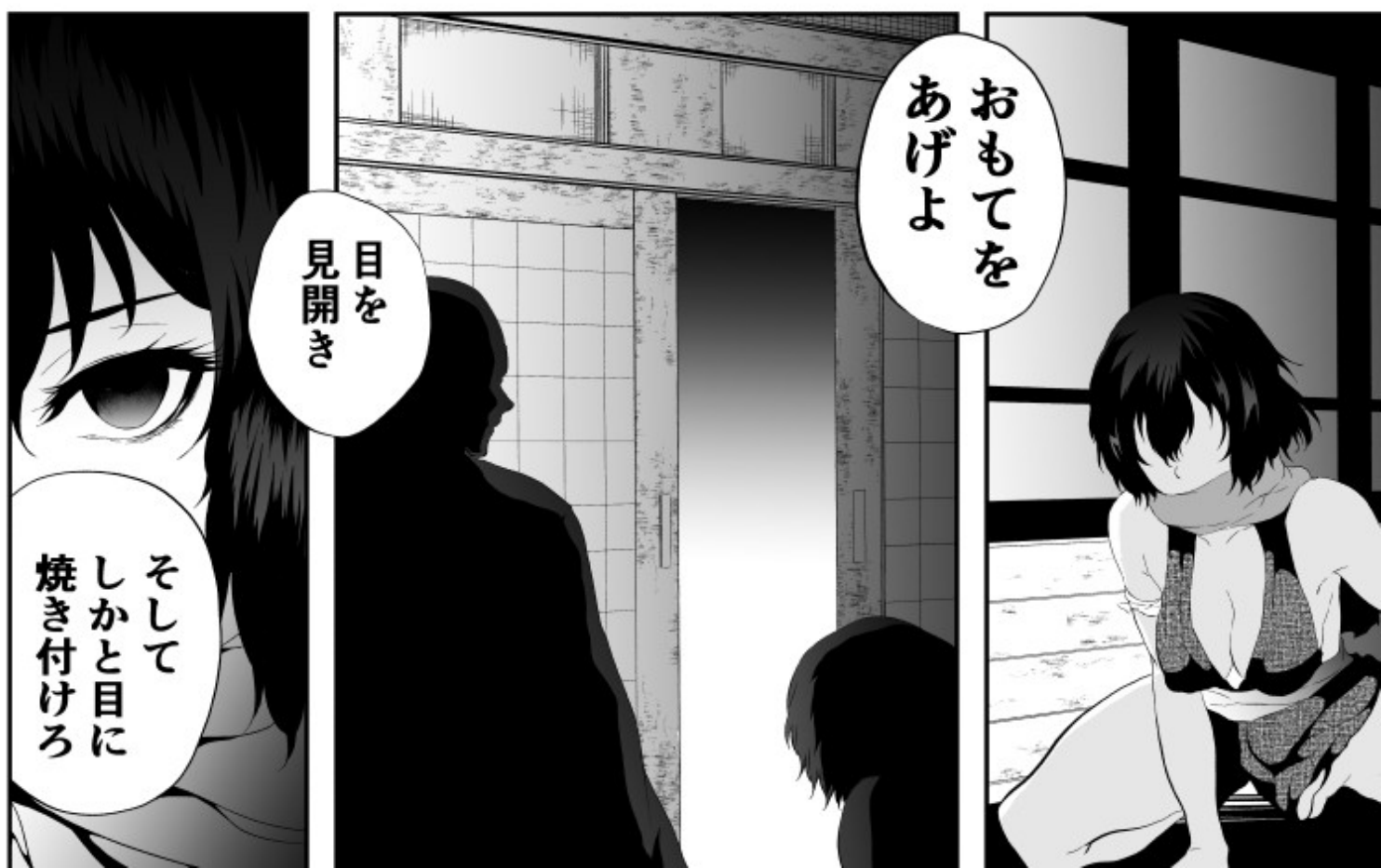
凌辱

忍

墮ちて

「起」







あれが
我らが命を
賭して守り

仕える主だ

その日は
満月だった



月明かりに
照らされて

若様の顔が
あまりに
白く柔らかく

なぜかー

私の身体に温度が
広がったのを
よく覚えてる





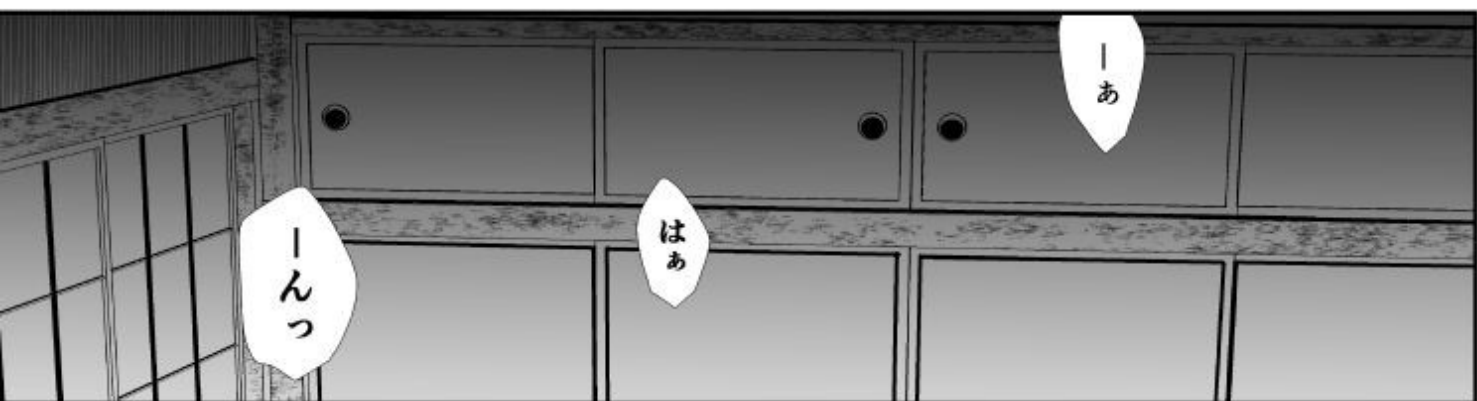




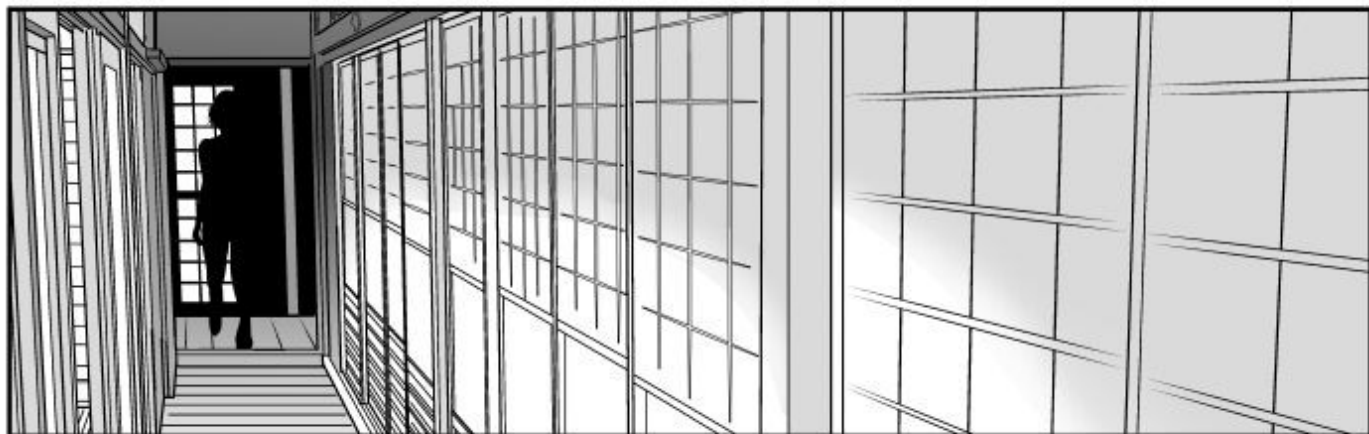
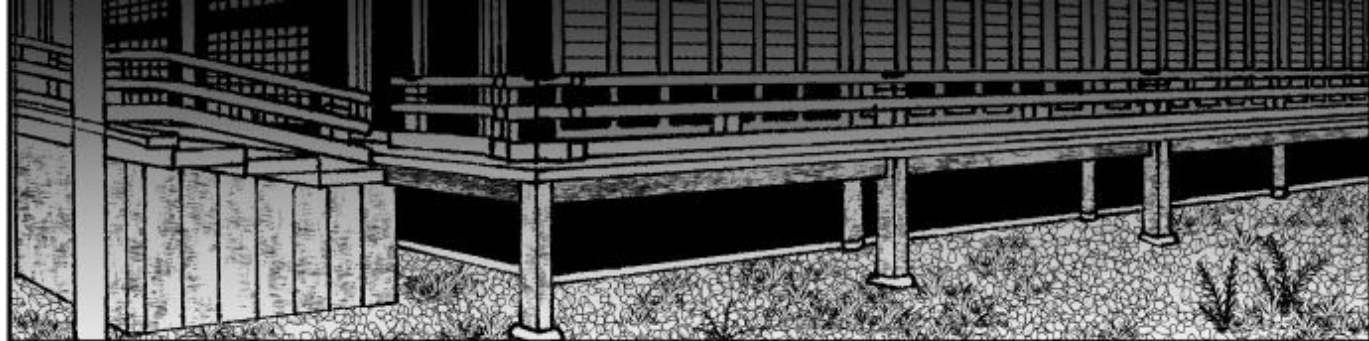


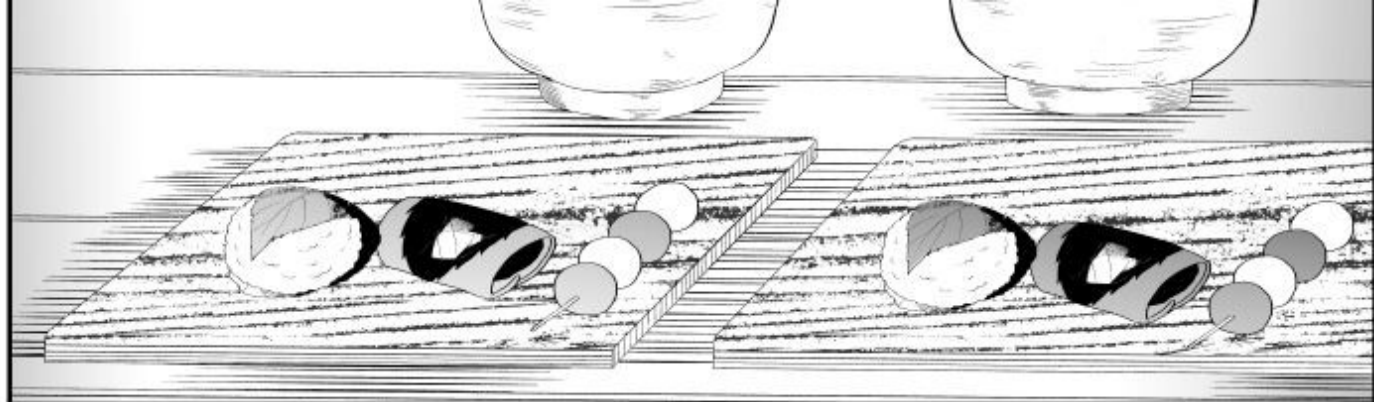


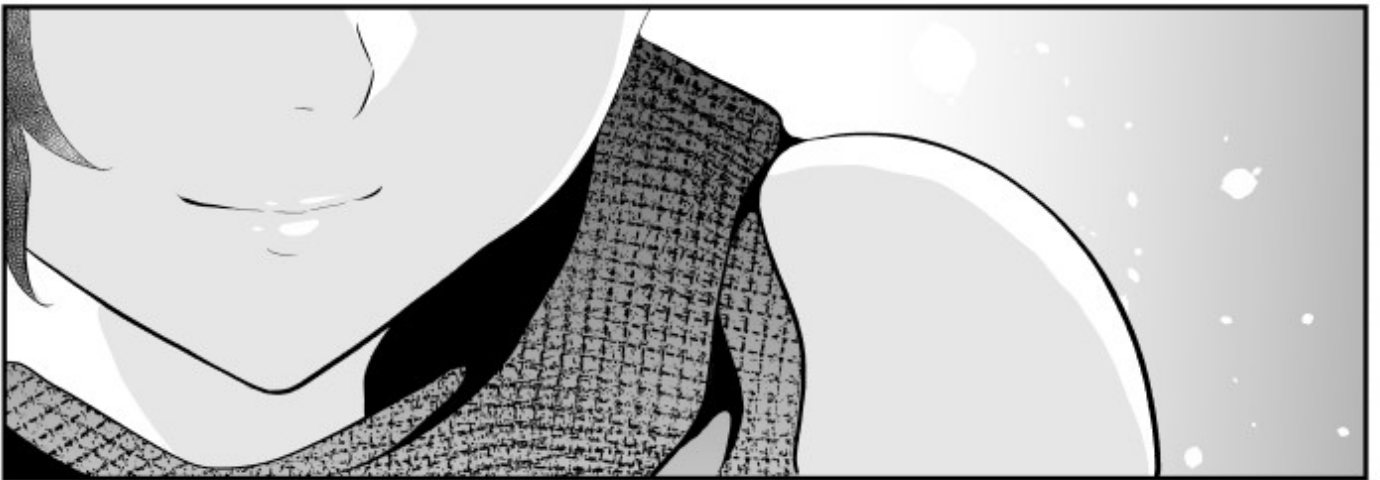




一苦いoooo







忍

堕ちて

「承」





名は
なんという？



名は
ありません

ただの
くのいちです



イ・チ・



…え？



其方の名だ

名が無いのは
不便なのでな

くのいちの
下の方を取り
いちだ

すまない
少し安直
過ぎたか？

い：いえ
そのような事は！

参ったな

年が近い者と
久々に話した
せいか

少し高揚
してしまった

許せ

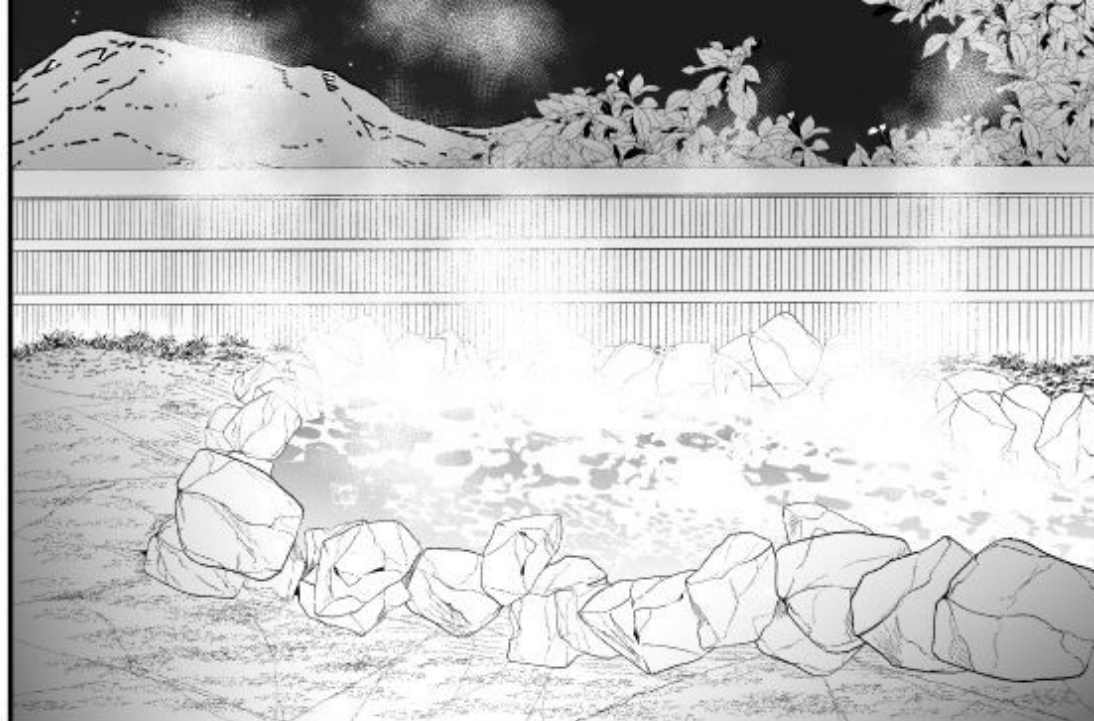
それがー

若様と
始めて

会話を
した日のこと









始末しろ





まさかー



何故作戦が
バレている?!

いや違う
何故忍びが
奴についてる?!







若様ー

忍 堕ちて 「転」









目覚めたか？



城の抜け道の
場所を答えよ



さて続きだ

城の中に
抜け道が
あることは
存じている

有事の際に
逃げられる
ようにな

だがそれは
都合が悪くてな

今回の戦は
生存者を
出しては
いけないのだ
なぜなら
生存者から
家臣の裏切りが
バレた場合

仇討ちと
評して
他の大名が動く

大義名分を
つくることに
なりかねん

理解
出来るな？

ーぐっ！





可哀想な
童を

慰めて
もらおうか



ゴゴゴ

あッ
あッ

はあッ

知

ハッ

貴様は
本当に「恩」を
感じているのか？

な…に

ならば
聞こう

なぜ今
貴様は拷問を
受けている

ガガガ
ガガガ
ガガガ



言葉の意味が
理解
できないか？



忠義ある
忍びが
囚われた場合



自害だよ



情報の
漏洩を
防ぐために

とる行動は
ひとつー





貴様も
コチラ側に
つかないか？





貴様の
城での扱いは
存じている

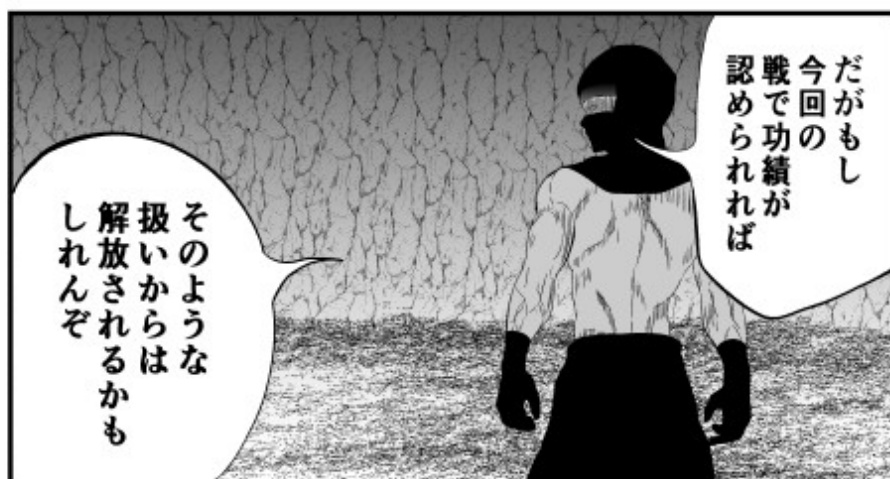
夜な夜な
当主や家臣達の
慰め者に
なってることも

男と違わぬ
任務を
こなしてる
ことも



年頃の
おなごみたく

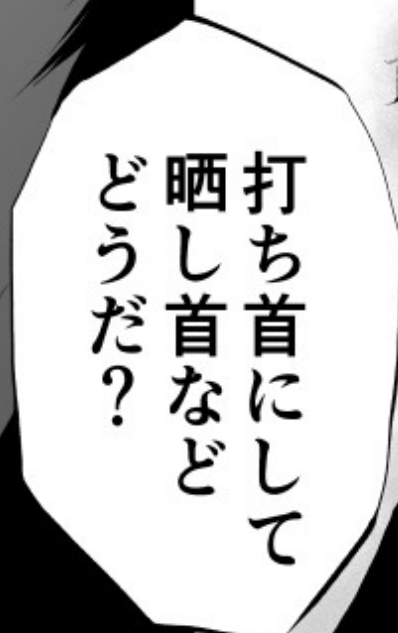
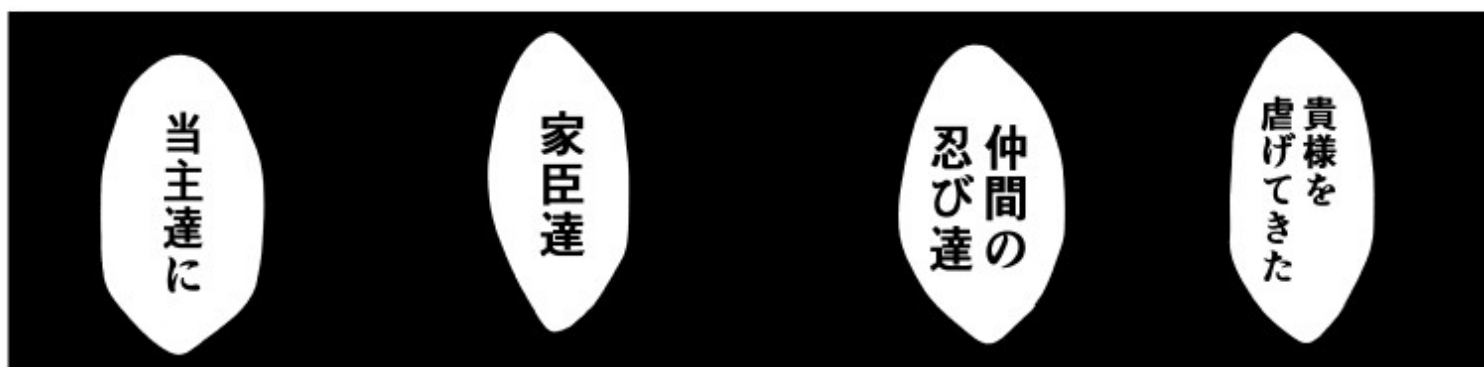
櫛やかんざしで
着飾ってみたくな
いのか？



だがもし
今回の
戦で功績が
認められれば

そのような
扱いからは
解放されるかも
しれんぞ







そうか

命は
捨てたと
見るぞ

オンナ



で結局情報は
聞けずまいか

くはは
相変わらず
貴様はオンナに
モテんなあ

なんだと

仕方あるまいて
幼少の頃から
鍛錬を積んでる
忍びだ

俺達のような
雇われの
忍びとは違う

しかし
雇い主には
報告は
どうする？

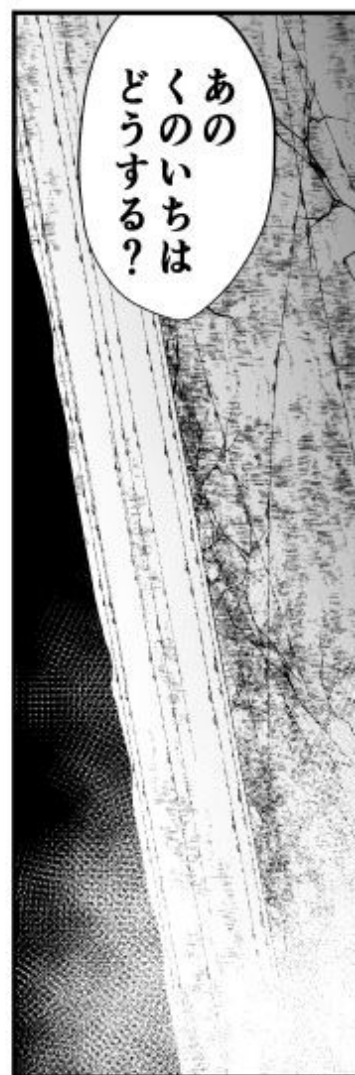
舌を噛み
切ったとでも
伝えとけ

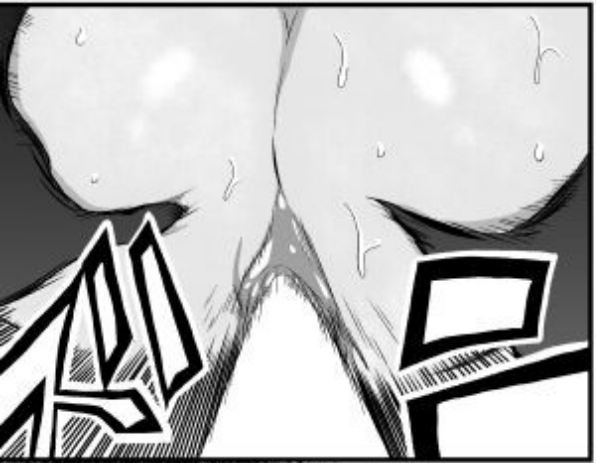
はッ

んくッ

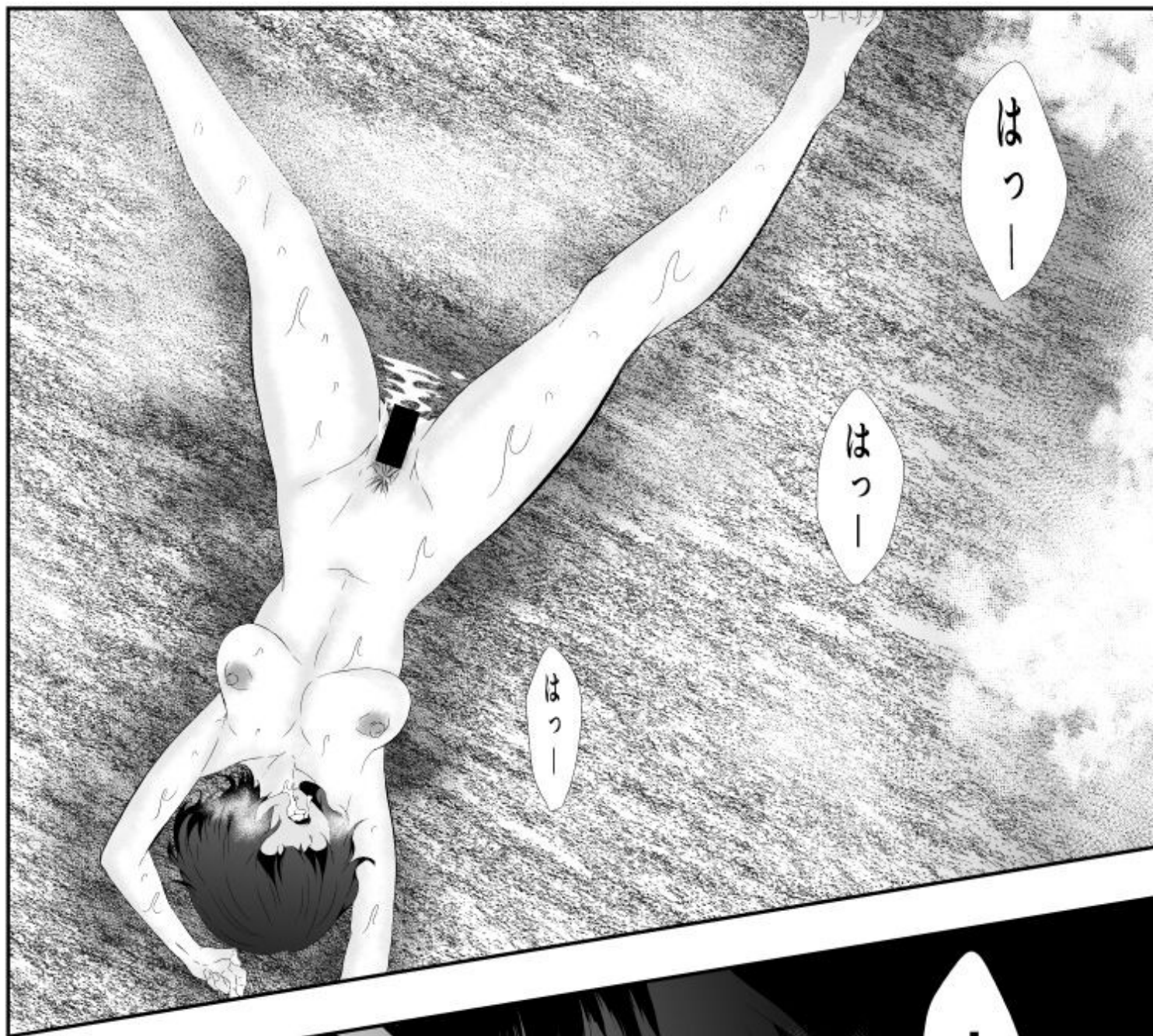
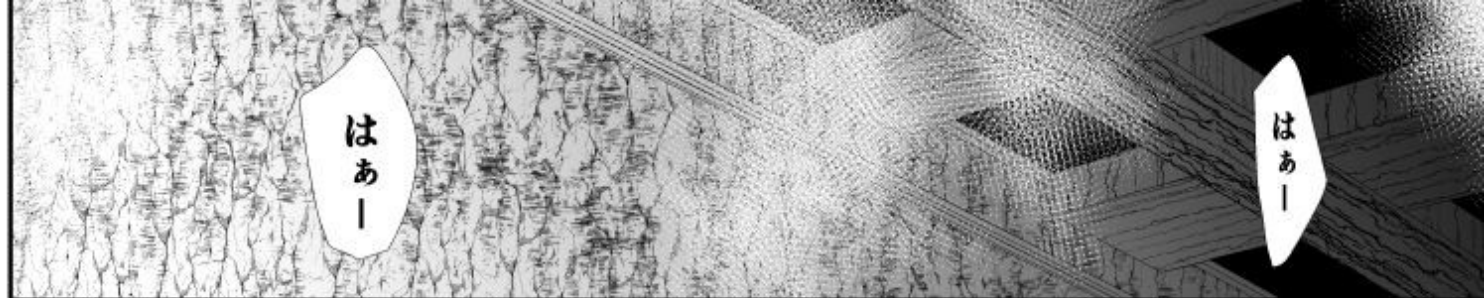
ふうッ











忍



堕ちて

「結」





—どれくらい
時間が経った？

オイー

ー

ー

コイツもう
ダメじゃ
ねえか？

反応が
ねえ

ああ
飲まず食わずで
ヤラれてればな

そんな
ことより
さっさと
合流しよう

サボってたのが
バレると
大目玉だ
報酬も貰えん

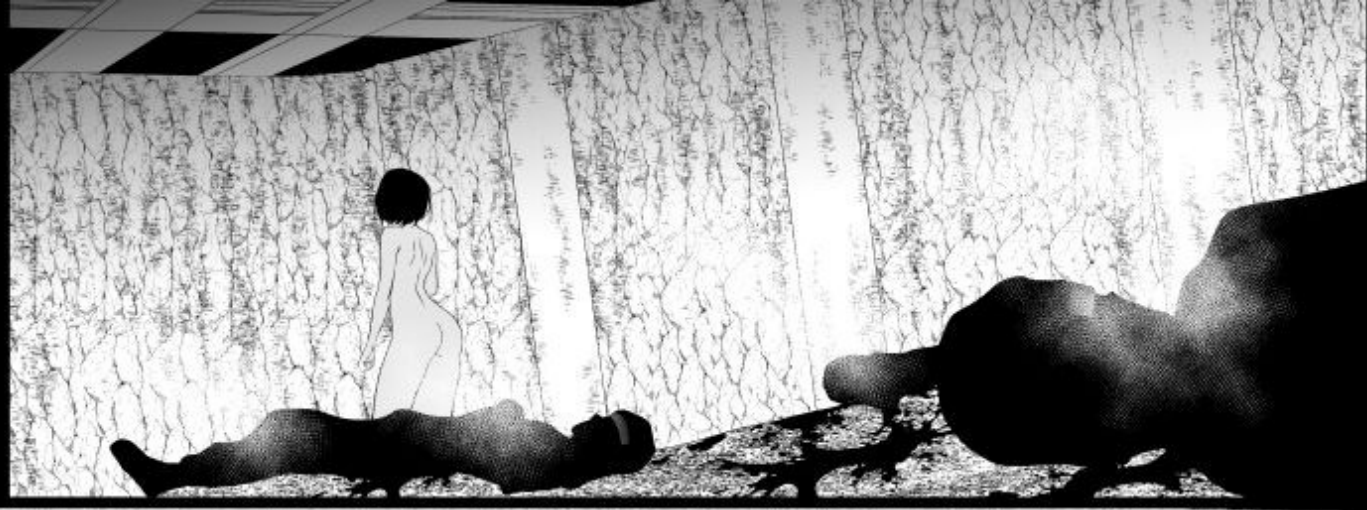
そんな時はよ
死体から
金目のモノ
ぶんどるさ

こうやって
ズバッってー

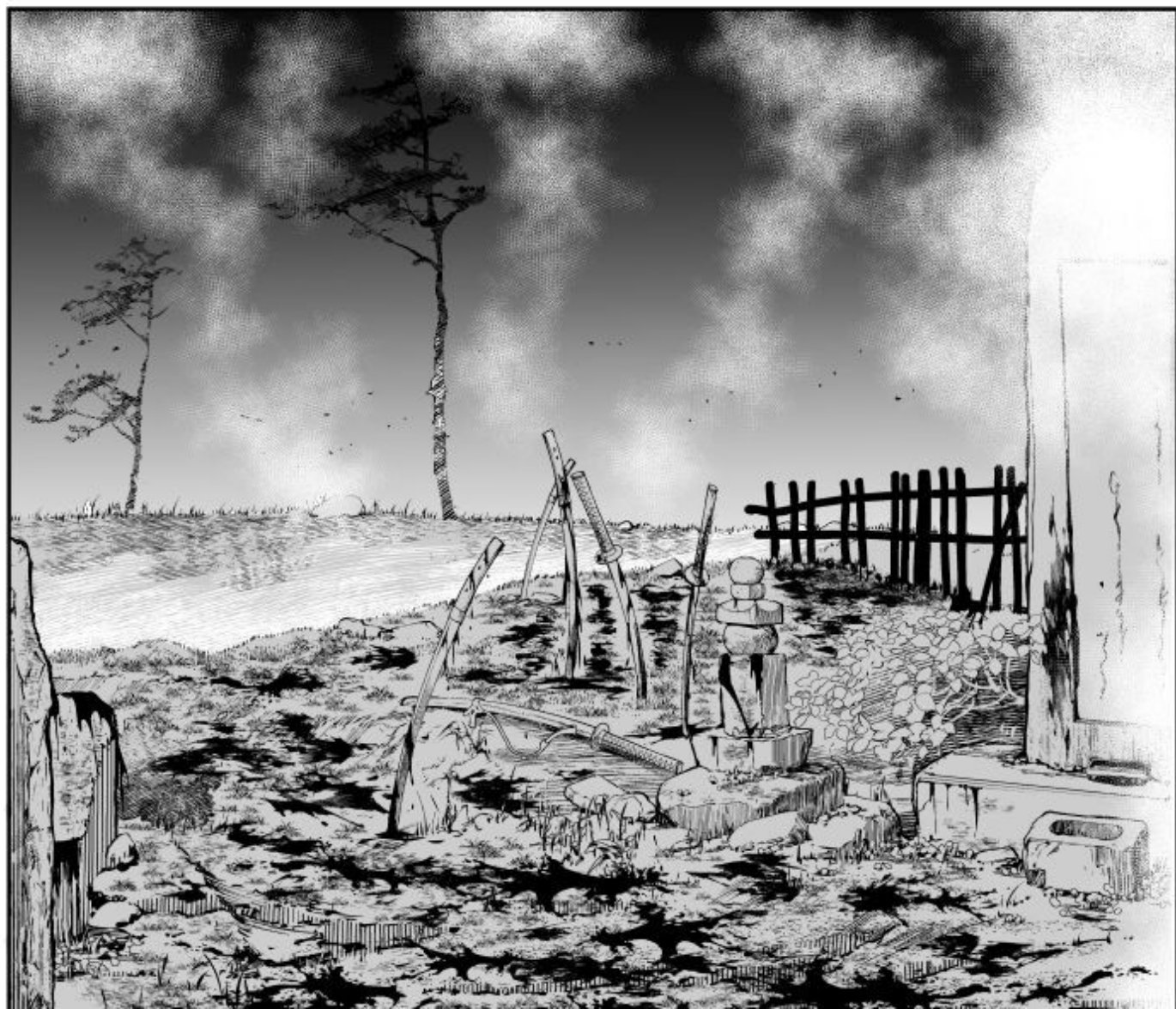
















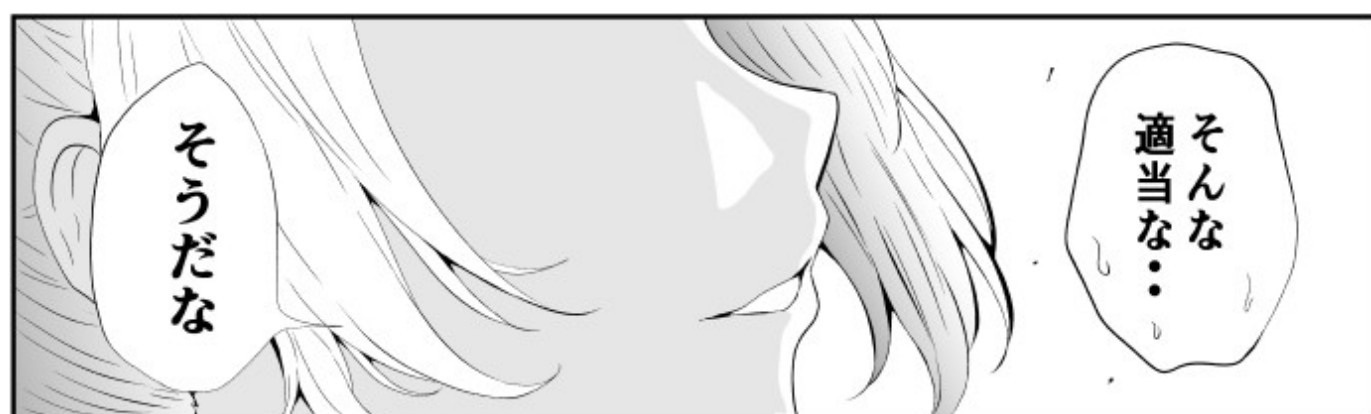
世が
世なのだ
口八丁
嘘も方便で
いかねばな

若様!?



しかし何故
忍びである
私にこんな
手厚い扱いを

私の
お気に入りの
女中だと
伝えたのだ



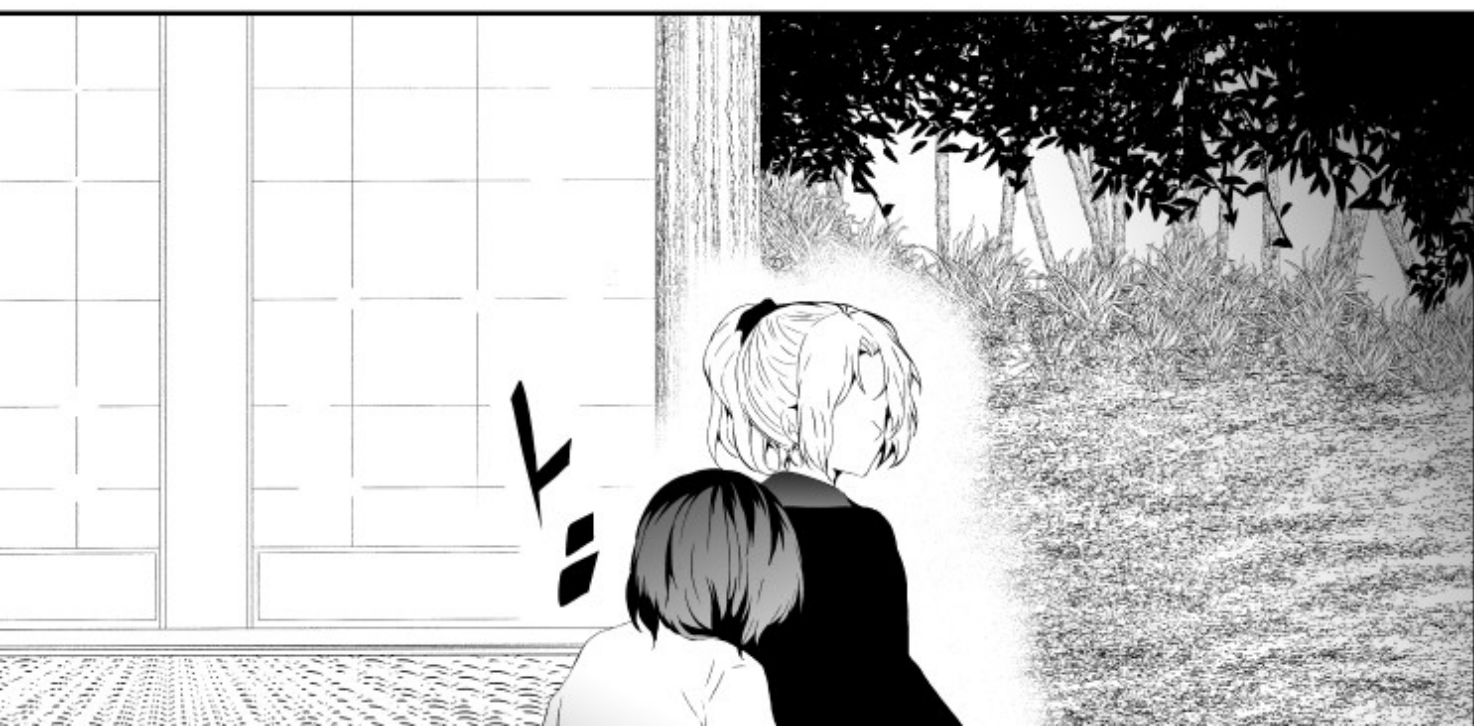
そんな
適当な…

そうだな



たぶん
そんな
生き方だから

腹を斬る
覚悟も
持てなかったの
だろう



私が囚われても
生き残ったのは

死ぬのが
怖かった
からです

自分の
命を優先
しました

忍び
失格です

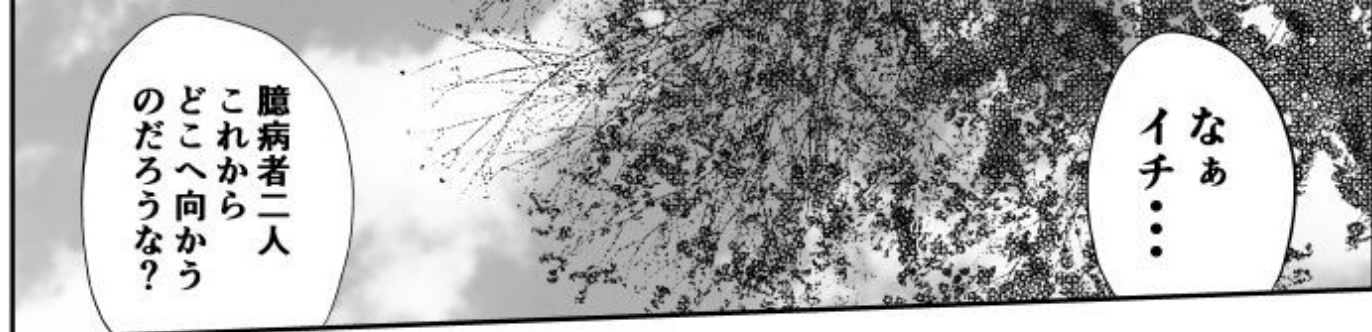
キッ

だから…



…そうか

ままならぬ
ものだな
お互い



彼の顔を
言葉を
交わすと





この熱に
名をつけるなら
なんだろう？

忍

恋に

堕ちて

終

ご購入
ありがとうございます

※この物語はフィクションです。

実在の人物・団体・事件などにはいっさい関係ありません
本作品の無断転載・加工・複製を禁じます。

尚18歳未満の閲覧・購買は禁止です

サークル

Aries